

群馬県立館林特別支援学校 学校評価一覧表（令和6年度版）

（様式）

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	総合			
I 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていますか。	① 各種たよりの配付や学校Webページの毎月更新、及び学校公開や廊下の掲示物による紹介によって、保護者や来校者が本校の教育活動を理解できたと感じている。（目標値90%以上）	教務情報	① 各種たよりの配付や学校Webページによって学校の取り組み等を紹介する。また、学校公開を企画し、授業参観や廊下の掲示物を充実させ、来校者に対して学習活動の様子が伝わるようにする。					
		② 授業参観や学校行事、PTA活動に参加しやすくと保護者が評価している。（目標値90%以上）	教務渉外	② 保護者が参加しやすい期日や時間の設定を行うとともに、内容等の改善を図っていく。					
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	③ 居住地校交流について、実施した保護者は、子どもにとって有意義な活動であったと感じている。（目標値90%以上）	相談支援	③ 居住地校交流を実施する場合には、相手校との打合せを丁寧に行い、子どもたちの実態に合った、有意義な活動が行えるように計画する。終了後、相手校とは総括を行うとともに、保護者とは、活動の様子や評価等について情報共有を行うことで、よりよい交流につなげる。					
II 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	④ 地域の幼保、小、中学校からの特別支援教育に関する相談や指導・支援、研修会への講師要請に対応したり、授業公開・研修会を行ったりして、地域における特別支援教育の中核校としての役割を十分に果たしている。（目標値90%以上）	相談支援	④ 特別支援教育に関する地域からの相談にきめ細かく対応するとともに、校内の各係とも連携しながら、学校公開や授業公開を実施する。また、職員の専門性を高められるよう、指導上気付いたことは、係が中心となってアドバイスし合う。					
III 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑤ 保護者は、個別の指導計画の目標設定やその手立て、達成状況に満足している。（目標値90%以上）	学習指導	⑤ 職員に個別の指導計画の目標や手立てなどを作成するための資料を配付し、説明を行う。不明な点は質問を受け付け、全体に関わることは情報共有する。また、保護者に対して根拠をもった説明ができるよう、職員にアセスメントについて説明したり、必要に応じて学習会を開いたりする。					
		⑥ いじめや問題行動に対して、十分な取組や対応ができています。（目標値90%以上）	生徒指導	⑥ いじめの実態把握やいじめの防止等について教職員の理解を深める。児童生徒が自分や友達を大切にすることを整える。					
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑦ ICT機器を活用して、児童生徒の学習意欲を喚起するとともに、学習効果を高めている。（目標値90%以上）	情報	⑦ 児童生徒が学習で有効活用できるように、ICT機器の環境整備を行ったり、研修部と連携しながら職員への研修・提案を実施したりする。					
		⑧ 今年度、校内全体で取り組んでいる授業改善について、教職員それぞれが十分な成果をあげることができている。（目標値90%以上）	研修	⑧ 学習指導要領を活用して指導の根拠を明らかにした指導案を作成して改善授業を行う。また、校内や校外で行う交流活動を充実させて授業改善に取り組めるように、事前事後学習や活動内容等の工夫を検討する研修を企画する。					
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑨ 児童生徒の健康の増進について、個別面談、電話連絡、連絡帳、各種たより等を通して情報交換を行い、早急かつ適切な対応をしている。（目標値90%以上）	保健給食	⑨ 個別面談、電話連絡、日々の連絡帳で保護者との情報交換を行い、教職員間の連絡、報告を密にし、迅速な対応をする。必要に応じて、全職員へ情報を周知し、必要な配慮を行う。毎月配付される保健だよりの重要な内容について朝会等で情報共有を行う。					
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑩ 危機管理対応マニュアルを理解し、児童生徒に病気やけが等の緊急事態が発生したときや、地震、水害等の自然災害が発生したとき、適切な対応をとることができる。（目標値90%以上）	保健給食管理	⑩ 緊急時に適切に対応できるように普段から全教職員で危機管理対応マニュアルの理解を深めておく。様々なケースを想定した緊急事態対応訓練などを通して理解を深めていく。また、避難訓練などの際は、当日の朝会で対応策をしっかり再確認していく。					
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑪ キャリア教育の視点を踏まえて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成したり、授業づくりを行ったりしている。（目標値90%以上）	進路指導	⑪ キャリア教育の視点を踏まえた個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成や授業づくりができるように、職員研修を開催したり、情報提供を行ったりしていく。					
	9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑫ 保護者に対し、学校から提供されるキャリア教育に関する情報を伝え、児童生徒の将来について十分な話し合いを行っている。（目標値90%以上）		⑫ 発達段階に応じた自己肯定感を高めるキャリア教育について保護者へ十分な情報が伝えられるよう、キャリア教育全体計画などをWebページに掲載したり、キャリア教育通信を発行したりする。					